

令和元年度事業報告

(目次)

I 総括	2頁
II 各事業の概要	
1 産業振興センター事業	3頁
2 中小企業支援センター事業	8頁
3 エレクトロニクスセンター事業	10頁
4 インタークロス・クリエイティブ・センター事業	13頁
III 事業実績一覧	15頁
IV 令和元年度資金収支決算（事業別対比）	19頁
V 財団の状況に関する重要な事項（計算書類及びその付属明細書の内容となる事項を除く。）	20頁

I 総括

当財団は、「産業振興センター」、「中小企業支援センター」、「エレクトロニクスセンター」及び「インタークロス・クリエイティブ・センター（ICC）」の4カ所の拠点において、中小企業支援法に基づく指定法人及び中小企業等経営強化法に基づく中核的支援機関として広く中小企業の支援を行い、活力ある地域経済の発展に寄与している。

令和元年度においては特に以下の事業について重点的に取組を行った。

「産業振興センター」では、当財団が持つ豊富な実績、ノウハウ及び関係機関等とのネットワークを活用し、スタートアップ・プロジェクトルーム入居者に対する支援や市内ベンチャー企業への支援の推進等により創業支援を行うとともに施設の貸出及び各種セミナーを実施した。

また、北海道内の1次産業者と札幌市内を中心とする2次・3次産業者の連携による6次産業化を推進し、マーケットインの発想を取り入れた高付加価値化を進めるとともに、道産品の輸出促進を図るため、アジアを中心に各企業の海外展開のサポートを積極的に行った。さらに、札幌・北海道の情報（観光、産業、生活等）が継続的に露出され、その効果が観光や貿易等の他産業に資するよう、映像関連事業者等との連携強化を図り、特にフィルムコミッション事業では、台北フィルムコミッション（台湾）と「フィルムコミッション活動に関する覚書」を締結し、日台双方での今後の発展を期待するところである。また、映像コンテンツの国際共同制作、相互流通を促進するため国際映像商談会への出展、映像制作への助成事業等も引き続き積極的に実施した。

「中小企業支援センター」では、経験豊富な相談員による経営・融資相談に加え、札幌市が策定した創業支援事業計画に沿って設置された「さっぽろ創業支援プラザ」で創業相談を行うとともに、計画に参画する他の支援機関と連携を図りながら創業支援を積極的に展開した。

また、1月29日に「新型コロナウイルス肺炎に対する緊急経営相談窓口」を設置し、新型コロナウイルス感染症により影響を受ける中小企業者等の経営・金融に関する相談のほか、新型コロナウイルス対応支援資金、セーフティネット保証制度第4号・第5号及び危機関連保証の認定申請受付を行った。

「エレクトロニクスセンター」では、良好な研究開発環境の提供、情報技術分野の技術革新等の調査、研究及び啓発等の事業を展開した。また、IT技術を活用した新たな製品やサービスを世に出すことのできる企画・展開力のあるIT企業の育成・支援に関する事業や、官民が保有するオープンデータ・ビッグデータの活用促進、更には、平成29年度に立ち上げた「Sapporo AI Lab」を中心に、AI、IoT、XRなどの先進的IT技術の社会実装の促進に関する事業を実施した。

「インタークロス・クリエイティブ・センター（ICC）」では、コンテンツ産業及びコンテンツを活用する他産業の振興拠点として、セミナー・ワークショップ等を通じたコンテンツ産業への支援を進めるとともに、コンテンツ産業と他産業との連携事例の創出に向けた支援も積極的に展開した。

II 各事業の概要

1 産業振興センター事業

○支出決算額 373,317千円

(1) 産業振興センター施設管理運営事業

人材の育成、創業支援等を通じて地域経済の活性化を図るための拠点施設である札幌市産業振興センターの指定管理者として、同施設の管理運営業務を実施した。

◆事業実績

- ・セミナールーム稼働率：72.9%
- ・SPR入居率：56%
- ・利用者アンケート総合満足度：上期 82%、下期 94%

(2) 中小企業経営セミナー等事業

創業のあらゆる段階に対応したセミナー及び人材のスキルアップを通じて企業の経営力強化を図るセミナーを開催した。

◆事業実績

- ・創業者向けセミナー受講者：200名
- ・起業道場受講者：40名
- ・人材育成セミナー等受講者：974名

(3) 女性起業家交流会実施事業

◆事業実績

- ・令和元年度は、札幌市において指名見積合せを執行した結果、他団体が受託したため、未実施

(4) ベンチャー育成事業

昨年度のベンチャーグランプリ受賞者に対し、ビジネスアイデアの実現に向けたハンズオン支援を行った。

◆事業実績

- ・支援対象：6件

(5) 起業志望者向け講座事業

潜在的な起業志望者の掘り起しを行うため、図書館と連携した講座、女性を対象とした起業講座、コワーキングスペースの見学等を行った。

◆事業実績

- ・5講座 170名（30年度は、12講座 259名）

(6) 中小企業ネットワーク構築・推進事業

札幌市産業振興ビジョンにおける重点分野の一つである「食」関連産業の振興のため、ものづくりチームと販路拡大チームが連携し、市内中小企業や関係機関

等への訪問により、各種支援メニューやイベントの紹介、個別企業のマッチング、コーディネートを行い、ネットワークの構築を図った。

このほか、市内に点在するビジネス情報をまとめて発信する総合ポータルサイト「さっぽろ産業ポータル」及び 10 都市連携マッチングサイト「つながるネット」の運営を引き続き実施した。なお、産業ポータルのメールマガジン（週 2 回発行）については、登録者数は約 4,100 名、記事掲載件数は 670 件にのぼり産業情報に関する市内有数のメールマガジンとなっている。

◆事業実績

- ・企業訪問：1,130 件
- ・ポータルサイトアクセス数：469,321 件

(7) 食品開発支援事業

道内の豊富な農水畜産資源を、原材料として供給する形態から、付加価値を付けた持続的な商業流通可能な商品として開発・供給する 6 次産業化・農商工連携・2 次 3 次産業連携を推進するため、販路拡大支援部内の「ものづくりチーム」が道内の 1 次 2 次産業者や市内の 3 次産業者、ものづくり企業、協同組合、大学等の研究機関を訪問し、ネットワークを構築するとともに、調査により判明した課題を踏まえたマッチングやコーディネート、イベントを実施した。

また、道内の 2 次産業者と、市内の 3 次産業者が連携し、道内の豊富な農水畜産資源を活用して新商品開発等を行う取組への補助や販路拡大につながる展示商談会への出展支援を行い、道内の食関連産業の商品の付加価値向上を図った。

◆事業実績

- ・企業訪問：655 社、1,360 回、コーディネート実績：102 件
- ・FOOD FAIR 2020～食のビジネスマッチング（食品開発の高度化、活性化に向けた情報発信のためのセミナーや講演会、食関連産業者間連携活性のための交流会を事業者間の出会いの場として創出、販路拡大に向けた食品展示会や個別商談会のイベント開催）：イベント参加者（延べ） 食品展示会 754 名（セミナー講演会 454 名、交流会 163 名、展示・相談会 136 名）
- ・展示商談会等出展支援
北海道産品取引商談会：出展 6 社、総商談 74 件
スーパーマーケットトレードショー2020：出展 6 社、総商談 326 件
- ・食品開発支援のための補助：5 件採択

(8) 食品海外販路拡大支援事業

道内企業の国際競争力を高め、道内経済の活性化を図るためには、経済成長著しいアジアをはじめとする海外への展開に関するサポートや道内企業が主導する商流・物流体制の構築が重要となる。そのため、販路拡大支援部内の「販路拡大

チーム」が貿易実務等の指導、現地バイヤー及び輸入商社等の情報収集、提供、輸出可能商材発掘等を行い、民間企業の海外進出へのきめ細かなサポートを実施して、輸出拡大を推し進めた。

また、当財団主催による海外企業との商談会を複数回開催し、販路拡大に向けた直接的なマッチングを実施するとともに、商談会に参加した輸出志向企業と新たなネットワークを構築した。

平成 30 年度から配置している台湾に食品専門アドバイザー事業を継続し、市場調査や現地での商談アレンジ、アテンド、商談支援等の実務に直結した支援のほか、外食産業海外展開実行委員会と連携した中華日式料理協会の招聘商談会を実施した。

◆事業実績

- ・貿易関連相談件数：248 件／年
- ・商談サポートによる輸出額：175,642 千円
- ・財団主催の取引商談会・セミナー

商談会名	対象国・地域	会期
誠品生活事業説明会・個別商談会	台湾・台北	7月10日
台湾日式料理発展協会 個別商談会	台湾	9月26日
マレーシア販路拡大セミナー・個別相談会	マレーシア	11月8日
台湾販路拡大セミナー・個別相談会	台湾	2月7日

(9) 輸出仕様食品製造支援事業

市内食関連企業の海外への販売力強化を図り、海外における北海道ブランドの定着を促進するため、パッケージ・風味・価格帯が海外の消費者に受け入れられやすい食品、賞味期間・保存方法・輸送方法が流通業者に受け入れられやすい食品、構成成分やその表示が海外の監督機関の基準に適合する食品等を開発する取組への補助による支援を行った。

◆事業実績

- ・輸出仕様食品開発のための補助：7 件採択

(10) 北大ビジネスインキュベーション支援事業

独立行政法人中小企業基盤整備機構が平成 20 年 12 月に設置した大学連携型起業家育成施設である北大ビジネス・スプリング（入居企業 23 社、入居率 100%）に職員 1 名を派遣し、当該施設の入居企業に対する経営アドバイスや公的支援制度や商談会・マッチングイベント等についての情報提供を行った。

◆事業実績

- ・経営アドバイス等の相談対応：88 回、情報提供 1,702 件／年

(11) デザイン活用型製品開発支援事業

市内ものづくり企業の製品開発力、競争力強化を図るため、ものづくりにおける「デザイン戦略」の普及啓発セミナーや小規模勉強会を開催したほか、「デザイン戦略」を活用した製品開発のための支援を行った。

◆事業実績

- ・ものづくりセミナー、中間報告会：各1回
- ・製品開発プロデューサー及びアドバイザーによる支援：3社
- ・成果事例集の製作

(12) 創業支援事業者補助金事業

スタートアップ・プロジェクトルーム入居者の経営基盤強化等の支援を目的として、民間の創業支援機関のノウハウも活用しながら、各種経営支援や情報提供、企業マッチング等、有用かつ実効的な支援を行った。

◆事業実績

- ・入居者の事業発表会：1回（参加者77名）
- ・経営塾の開催：4回（参加者59名）
- ・創業機運醸成講座の開催：6回

(13) 小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業

新技術・新製品の開発意欲があるものの、経営資源が限られ開発に踏み出せない小規模企業に対する支援として、市内小規模企業が行う技術的な優位性及び実用化・事業化の可能性が高い新技術・新製品開発等の取組に対し、補助を行った。また、採択後も定期訪問により、製品開発等に関する技術的課題の解決に向けたアドバイスや開発等の推進に向けた支援を行った。

◆事業実績

- ・製品開発・販路拡大のための補助：7件採択
- ・ものづくり企業等への企業訪問：257回／年

(14) IoT等生産性向上推進事業

IoT等の活用イメージをわかせるためのセミナーを開催したり、IoTツール等の展示会に参加したりすることにより、IoT等の技術について、それぞれの企業の状況や予算に応じた活用方法があることを周知し、IoT導入の普及啓発を図った。

◆事業実績

- ・普及啓発セミナー：1回（参加者131名）
- ・展示会への出展：1回（企業9社）

(15) 映像産業振興事業

① 映像産業振興

札幌・北海道の情報（観光、産業、生活等）が継続的に露出され、その効果

が観光や貿易等の他産業に資するよう、映像産業の基盤強化に向けた人材育成・地域振興や映像コンテンツの国際共同制作の推進等を積極的に実施した。

◆事業実績

- ・国際共同制作案件組成のためワークショップ（3回）、国際企画提案会議を実施（国内1回）
- ・映像コンテストの実施
- ・ドキュメンタリー講座の実施

② フィルムコミッション

映画・ドラマ等の撮影に関する相談・問合せ対応や札幌市内でのロケ誘致につなげるためロケハンや撮影現場対応を行った。

また、こうしたフィルムコミッションの活動状況を周知することにより、シビックプライドの醸成や他産業への波及効果が期待できることから、支援映画の撮影地で行われたイベントや当財団が主催する食産業イベント等へ参加し、活動のPRを行った。

さらに、国際的映画作品の誘致や映像コンテンツの海外販路拡大、国際共同制作の推進を目的に台北フィルムコミッションと覚書を締結し、協力体制の構築も図った。

◆事業実績

- ・フィルムコミッション問合せ相談件数：148件
- ・ロケハン日数：101日
- ・ボランティアエキストラ：総登録者数3,222名

③ 映像コンテンツ販路拡大

映像コンテンツ販路拡大事業については、東京、シンガポール、香港などの国際映像見本市へ昨年度から引き続き出展し、世界各国のバイヤーに対して、地域発コンテンツの魅力を効果的に発信することができた。

また、今後札幌市が目指すアジア以外からの観光客増も視野に入れ、令和元年度は新たにフランスで開催された商談会にも出展した。

なお、香港で開かれる商談会にも参加する予定であったが、新型コロナウイルスの拡大により、開催が令和2年8月に延期されることになった。

◆事業実績

国内外映像商談会出展

- ・海外2都市（シンガポール【コンテンツホルダー2団体】、カンヌ（フランス）【コンテンツホルダー3団体】）
- ・国内1都市（東京【コンテンツホルダー7団体】）
- ・商談件数：212件

④ 映像制作助成

映像制作助成事業は、映像制作に係る経費の一部を助成することにより、札幌市における映像制作をより一層促進するとともに、札幌市の映像産業及び映像を通じた産業の発展に向けた取組を推進し、札幌市のブランド化及び観光客誘致につなげることを目的としている。

助成の目的と申請内容により4つの項目「国際共同映像制作助成金」「映画・ドラマ制作助成金」「海外プロモーション助成金」「国際共同ドキュメンタリー制作支援助成金」に分けて実施した。

◆事業実績

映像制作助成事業実施件数：18件（うち4件は撮影延期などの理由で取下げ）

主な助成作品：

- ・映画「ホテルローヤル」((株)ダブ)
- ・アニメ「札幌乙女ごはん。」第3弾番組シリーズ完結編（北海道文化放送(株)）
- ・ドキュメンタリー「PMF30周年記念番組」（北海道文化放送(株)）
- ・KITAGUNIサプリメントの販路拡大のための商談活用映像制作（(株)北国生活社）

2 中小企業支援センター事業

○支出決算額 28,391千円

(1) 中小企業支援センター事業

① 窓口相談

迅速かつ的確な相談に対応するため、経済センタービルに金融・経営支援リーダー及び金融・経営支援アドバイザーを配置するとともに、応援コーディネーターによる経営アドバイスを行った。

◆事業実績

- ・経営・融資相談件数5,309件（うち、窓口相談：1,224件、電話相談：3,249件、インターネット相談：711件、その他：125件）

② 融資斡旋・経営支援

金融相談員が「創業・雇用創出支援資金」をはじめ、札幌市融資制度全般の相談にあたり融資斡旋を行ったほか、各種融資制度に関する助言や他機関との調整等を通じて、中小企業の経営支援を行った。

◆事業実績

- ・創業・雇用創出支援資金斡旋件数：38件

③ 創業資金事後フォローアップ事業

創業資金を利用した企業に対し金融相談員及び中小企業診断士である応援

コーディネーターが訪問し、企業が抱える経営課題に適切なアドバイス・助言を行い、さらに適宜アドバイザー・専門家派遣等を積極的に行うことにより問題解決を図った。

◆事業実績

・訪問企業：125社

④ 中小企業アドバイザー事業

中小企業者が抱える販路開拓や経営戦略、経理・事業計画等の様々な問題の解決のため、各分野における知識や経験豊富な人材をアドバイザーとして登録活用し、企業の経営力等の向上を図った。

◆事業実績

・アドバイザー登録：32名、派遣：延べ6日、派遣企業：3社

⑤ 調査分析事業

公的機関などの提供する財務分析サービス、商圈分析ツールを活用して、中小企業・小規模事業者への問題点を分析し、情報提供を目指している。

◆事業実績

・情報提供：0件

⑥ 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業【国との協力事業】

中小企業・小規模事業者の抱える高度専門化している課題について、国との協力事業である専門家派遣に積極的に応じた。

◆事業実績

・専門家派遣：3社（延べ5日）

⑦ セーフティネット保証制度に係る認定申請の受付等業務

「中小企業信用保険法第2条第5項」などの規定に基づくセーフティネット保証の認定申請書類の確認、受付を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症に係る緊急経営相談窓口における認定申請が急増している。

◆事業実績

・認定申請受付：732社（新型コロナウイルス感染症に係る緊急経営窓口分702件含む。）

⑧ 女性起業家育成事業

女性の中小企業診断士を年50日配置し、女性や若年者を対象として経営課題へのアドバイス・助言を行うほか、関連団体と連携し女性起業家の支援活動を行った。

◆事業実績

・創業・経営相談：131件

⑨ 広報・普及活動

事後フォローアップ時に最寄りの金融機関を訪問し、札幌市の融資制度、当財団の支援制度などについて紹介して積極的に広報活動を行った。

◆事業実績

- ・訪問金融機関 181 件

⑩ 人材確保支援事業

社会保険労務士等を新たに配置し、「さっぽろ人材サポートデスク」を開設。ハローワークや札幌就業支援サポートセンターなどを利用する上で効果的な求人・採用計画、テレワーク導入などに取り組む中小企業などへのアドバイスをを行った。

◆事業実績

- ・相談件数 24 件

3 エレクトロニクスセンター事業

○支出決算額 239,518 千円

(1) エレクトロニクスセンター管理運営事業

IT産業支援の拠点施設であるエレクトロニクスセンターの指定管理者として、同施設の管理運営業務を実施した。

(2) 技術開発室支援事業

エレクトロニクスセンターにおいて、良好な研究開発環境の提供を行った。

◆事業実績

- ・年度末入居率 78.9%

(3) IoT推進コンソーシアム事業

札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアムの専門部会の一つであるAI研究部会（Sapporo AI Lab）に関する活動を中心に、AIの社会実装につながる普及・啓発イベントや、AI人材の育成に関する研修、市内IT企業による、AIやIoTなどの先進的IT技術の社会実装に向けた実証事業への支援、市内IT企業の技術者の高度化を目的とした最新の技術動向、開発手法、プログラム言語等を紹介するセミナーや、実践的なハンズオン研修を開催した。

◆事業実績

- ・AIの活用に関するプロジェクトメイク：飼育動物見守りのためのリアルタイム動作分類、エソグラムAIシステム構築にむけた飼育動物調査研究、灯油タンク使用量予測と残量検知の機械学習、など12のテーマに関する引き合い。
- ・AI人材育成研修（AI×経営入門編 全2回、同実践編 全2回、初心者向けエンジニア育成 全3回開催、延べ290名参加）
- ・先進的IT技術実証事業費補助金：2件採択（応募3件）

- ・札幌市 I o T イノベーション推進コンソーシアムの A I 部会及び I C T 活用普及促進部会主催によるイベント：計 4 回開催 延べ 229 名参加
- ・先進的 I T 技術に関する研修（普及・啓発セミナー・イベント）：Developers Festa Sapporo 320 名参加
- ・最新技術研修サッポロクリエイティブキャンプ（全 9 回開催）延べ 333 名参加

(4) I T 利活用ビジネス拡大事業

札幌の I T 企業と、道内・市内で強みや可能性を持つ他の産業(食、観光、環境、健康・福祉分野等)との積極的な交流を通じ、I T の利活用による新たな製品やサービス創出など、地域の経済を活性化するため、ビジネスマッチング・交流会を開催した。

また、市内中小企業を対象とした補助制度「I T 利活用促進事業費補助金」を交付し、I T を活用する側の企業の I T 投資の支援を行ったほか、I T の利活用に関するセミナーを開催した。

更に、市内中小 I T 企業が新たなサービスや製品を開発・展開することを目的とした補助制度「I T ビジネス創出支援事業費補助金」を交付し、3 件の新サービス創出支援を行った。

◆事業実績

- ・I T 利活用ユーザ企業向けセミナー（札幌イノベーションセミナー等）：延べ 303 名参加
- ・I T 利活用に向けたニーズ調査（対象：運輸業、建設業）：調査対象となった企業と I T 企業による交流会 4 回開催。市内 I T 企業 延べ 15 社参加
- ・I T コーディネーターを活用した I T 利活用に関するユーザ系企業とのマッチング：7 件
- ・I T 利活用促進事業費補助金：3 件採択（応募 6 件）
- ・I T ビジネス創出支援事業費補助金：3 件採択（応募 8 件）

(5) I T-バイオ連携推進事業

札幌市内の I T 企業と、食・バイオ関連企業との連携促進による新たなビジネスの創出と I T 企業の受注機会の拡大を目的に、連携に向けたバイオ企業の視察会、視察先企業に対する提案交流会を開催したほか、ウェットラボ入居企業を対象とした研究開発に係る補助金の交付などを行った。

◆事業実績

- ・食・バイオ関連企業・団体・研究機関・大学への訪問調査：5 社
- ・食・バイオ関連企業・団体との交流イベント開催：I T 企業 10 社参加
- ・バイオ関連団体向け I T 産業とのマッチングイベント開催：67 名参加
- ・補助金の交付：I T-バイオ研究開発補助 2 件、バイオ I T 利活用補助 1 件

(6) ITイノベーション推進事業

市内 IT 企業の新技術を応用した新しいサービスモデルの創出や、必要とされる人材の育成を目的に整備された札幌イノベーションセンターを運用するとともに、今後注目すべき新技術や新サービスの実践的な研修、調査及び実証実験を行った。

◆事業実績

- ・実践的な技術研修：1件（1件当たり4回シリーズ。延べ87名参加）
- ・新技術（LPWAやIoTなど）の活用促進に向けた実証環境（エレクトロニクスセンター内）を提供
- ・市内IT企業と首都圏及び海外企業とのマッチングを目的としたPR活動（首都圏（WeWork 渋谷など）におけるイベント開催、企業紹介冊子作成など）

(7) ICT活用プラットフォーム関連事業

平成29年度に構築した「札幌市ICT活用プラットフォーム（DATA-SMART CITY SAPPORO）」の維持管理・運営を行うとともに、データ利活用の普及啓発を目的としたイベントの開催や、データ活用コーディネーターによる地方版オープンデータ官民ラウンドテーブル（内閣官房 情報通信技術（IT）総合戦略室）の手法を参考に、データの利活用事例の構築に向け民間事業者からヒアリングを行った。また、プラットフォームの持続可能な運営基盤の確立を目的とする「データ利活用促進検討委員会」の意見を参考に、令和元年7月17日付で新たな運営組織として、一般社団法人札幌圏地域データ活用推進機構（SARD）を設立した。

◆事業実績

- ・プラットフォームの維持管理・運営（問合せ対応、プラットフォーム更新、関係機関との調整）
- ・データ利活用の促進及びプラットフォーム運営の自走化に向けた運営組織（一般社団法人札幌圏地域データ活用推進機構）の設立
- ・プラットフォーム運営会議の開催（年12回）
- ・ラウンドテーブル（オープンデータ化に向けた市及び民間事業者との協議）の開催（3回）
- ・データ利活用に関するイベント開催（1回）

(8) キャッシュレス推進事業

外国人観光客の増加や消費税の増税対策に伴うキャッシュレス決済に対する関心の高まりを踏まえ、各種決済手段に対応する決済端末の導入を促進するプロモーションの実施や、札幌市内店舗におけるキャッシュレス環境の整備を行った。

- ・市内店舗訪問件数（2,355件）

- ・決済端末設置店舗数（14 店舗）
- ・キャッシュレス推進イベントの開催（4 回）

(9) みらい I T 人材育成事業

I T 関連市場の拡大と共に懸念される I T 人材の不足を解消すべく、I T 産業の持続的な成長を促すことを目的とした若年層を対象とした人材育成事業を実施した。

◆事業実績

- ・小中学生向けプログラミング体験、I T スキル習得を目的としたイベントを開催（ジュニアプログラミングワールド 2019）。延べ 6,000 名参加
- ・高校生を対象とした、I T の活用による課題解決、アイデア具体化スキル習得、成果発表からなるセミナー（Break Through）を開催。計 4 回開催、参加チーム数 8（延べ 200 名参加）

(10) x R 技術普及促進支援事業

x R 技術活用による新ビジネス創出を目指し、本技術の普及促進やコミュニティ形成等の機運を醸成することを目的とした、B to B 向け x R 普及促進イベントを開催した。

◆事業実績

- ・x R 技術を持つ企業群と他産業分野との交流・マッチングを目的とした「xR Exhibition Sapporo 2020」のイベント開催を企画した。イベントの事前申込者数は 152 名であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため非公開にて開催。展示内容を撮影し、後日動画配信を実施した。

4 インタークロス・クリエイティブ・センター事業

○支出決算額 58,121 千円

(1) I C C 施設管理運営事業

(2) クリエイティブ産業振興事業

デザイン、映像、音楽、キャラクターなどのコンテンツを制作するクリエイティブ産業の振興を進める新規プロジェクト（事業）の創出拠点施設として、情報発信スペース「クロスガーデン」やクリエイター入居スペース「クリエイティブルーム」等を管理・運営している。

また、新たにコーディネーターによる相談窓口を設け、クリエイターからのビジネス相談やクリエイターと連携を図りたい企業からの相談対応を行うことで、新たなプロジェクトを創出する土壌を築くとともに、クリエイターのニーズや業界トレンドを取り入れた各種イベントをオンライン、オフライン双方で開催し広く情報発信を行った。

さらに、クリエイティブ産業と他産業のコンテンツを活用した協業を促進する

ため、「コンテンツ活用促進事業費補助金」制度を実施するなど、道内中小企業と市内クリエイターが連携し、企業の経営課題を解決していく取組に対する支援も行った。

◆事業実績

- ・クロスガーデン利用者数：5,201人/年（月平均433名）
- ・クリエイティブルーム入居率：58%（全12室、入居7室、空き5室）
- ・新規プロジェクト登録数：4団体（計77団体）
- ・クリエイター向けクリエイティブセミナー：5回、149名
- ・クリエイター向けビジネスセミナー：7回、195名
- ・クリエイター向けネットワーク構築イベント：7回、111名
- ・企業向けクリエイティブイベント：2回、92名
- ・市民向けクリエイティブイベント：5回、288名
- ・プロジェクト発信イベント：2回、23名
- ・道内連携プロジェクト補助事業：2件実施

(3) クリエイティブ人材育成事業

若手クリエイター等の制作技術の向上及び幅広い情報発信の場の提供などにより、若手クリエイター等の「クリエイティブ・スキル」と「ビジネス・スキル」の向上に資する事業を実施した。

① 映像音楽編集スペース管理運営

映像等の制作スペースを、低廉で良好な環境で提供した。

◆事業実績

- ・映像・音楽編集スペース利用件数：31件

② プレ ICC 事業

札幌アートディレクターズクラブ（SADC）、札幌メディア・アート・フォーラム運営委員会（SMF）の札幌市内の学生やOB等が企画・実施するクリエイティブイベントに対する支援を行った。

◆事業実績

- ・SMFとのワークショップ、セミナーの共催

③ 若手クリエイター向けワークショップ

学生や市内若手クリエイターを対象に、映像制作の専門家を講師として招聘し、専門知識を深め、技術・応用力を高めるワークショップを実施した。

◆事業実績

- ・若手クリエイティブ人材育成「映像制作ワークショップ」【基礎知識編】
- ・若手クリエイティブ人材育成「映像制作ワークショップ」【撮影編】
- ・若手クリエイティブ人材育成「映像制作ワークショップ」【編集編】

Ⅲ 事業実績一覧

令和2年（2020年）6月5日

所管	NO.	事業名	支出決算額 (千円)	令和元年度		令和2年度		今後（概ね5年間）、目指すべき方向性
				事業実績	課題	事業計画	事業目標	
産業振興センター			373,317					
	1	産業振興センター施設管理運営事業【札幌市指定管理業務】	111,540	<ul style="list-style-type: none"> セミナー・ルーム稼働率 72.9% スタートアップ・プロジェクトルーム入居率 56% 利用者アンケート総合満足度 94%（下期） 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌の産業振興拠点としてハード面、ソフト面を含めた機能発揮 地域を代表するような企業の輩出 	<ul style="list-style-type: none"> セミナー・ルーム等利用促進のためのPR（HP更新含む） スタートアップ・プロジェクトルーム入居者への経営相談等支援 	<ul style="list-style-type: none"> セミナー・ルーム稼働率：80%以上 スタートアップ・プロジェクトルーム入居率：80%以上 利用者アンケート満足度：90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌の産業振興拠点としての機能発揮 地域を代表するような企業の輩出
	2	中小企業経営セミナー等事業【札幌市補助事業】	16,592	<ul style="list-style-type: none"> 創業者向けセミナー：14回/年 200名 起業道場：3回/年 40名 人材育成セミナー等：39回/年 974名 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズの高いセミナー等、マーケットの求めに応じた実効性のあるメニューの展開 	<ul style="list-style-type: none"> 創業者向けセミナー、経営者向けセミナー等の開催 起業道場（6コマで1シリーズ完結）の開催 起業志望者向け講座事業の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 創業者向けセミナー：18回/年 起業道場：4回/年 起業志望者向け講座事業：6回/年 経営者向けセミナー等：11回/年 人材育成セミナー：29回/年 	<ul style="list-style-type: none"> 創業及び新たな事業分野への進出の促進 企業活動を支える人材の育成による企業経営力の強化
	3	女性起業家交流会実施事業【札幌市受託事業】	0	札幌市において指名見積合わせを執行した結果、他団体が受託したため未実施	<ul style="list-style-type: none"> 新たな女性起業家の発掘 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市内で活躍する女性起業家と起業を目指す女性の交流の場を創出し、市内の創業の促進につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加（女性）70名 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度以降は、札幌市から事業を受託できた場合に事業を実施
	4	ベンチャー育成事業【札幌市補助事業】	7,353	<ul style="list-style-type: none"> 前年度のSAPOROベンチャーグランプリ受賞者へのハンズオン支援：6件 	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済においてロールモデルとなる起業家の輩出 	（令和元年度で事業終了）		—
	5	起業志望者向け講座事業【札幌市補助事業】	1,104	<ul style="list-style-type: none"> 5講座 170名 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い創業マインドの醸成 	（令和2年度から中小企業経営セミナー等事業に統合）		—
	6	中小企業ネットワーク構築・推進事業【札幌市補助事業】	32,319	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問件数：1,130件/年 企業訪問によるコーディネート：81件/年 さっぽろ産業ポータルアクセス数：47万/年 	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業のニーズや課題の把握、潜在的ニーズの掘り起し 当年度までのノウハウについて食品販路拡大事業へ水平的展開を実施 	（令和2年度から食品開発支援事業及び食品販路拡大支援事業に分割）		—
	7	食品開発支援事業【札幌市補助事業】	27,448	<ul style="list-style-type: none"> 食品開発のための補助：5件採択/年 展示商談会等出展による支援：2回/年 マッチングイベント開催：1回/年 セミナー等の開催：2回/年 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道の農水畜産資源を「原料」として供給する形態から、「商品」化し付加価値をつけて製造 販売する形態への構造転換の推進 開発した商品の販路拡大 市場ニーズや販路を踏まえた持続的な商業流通可能な商品開発の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 市場ニーズを踏まえ持続的な商業流通を目的とした新商品開発から販売まで一貫したハンズオン型支援 道内1次産業、2次産業の情報収集と市内3次産業の課題の把握と解決に向けたマッチング支援 輸出に適合した食品開発とマーケティング活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新商品開発のための補助：5件採択/年 展示商談会等出展による支援（国内）：4回/年 セミナー等の開催：2回/年 輸出仕様食品開発のための補助：10件採択/年 	<ul style="list-style-type: none"> 企業の商品開発レベルの向上 食品加工業の成長・拡大と地元企業による輸出を含めた販売力強化 道内食料産業の付加価値の向上 市内企業の海外への販売力強化
	8	食品海外販路拡大支援事業【札幌市補助事業】	44,802	<ul style="list-style-type: none"> 貿易関連相談件数：248件/年 商談サポートによる輸出額：175,642千円 台湾食関連市場に関する調査・報告：13件/年 販路拡大に関する現地商談マッチング及び商談支援：174件/年 認証取得のための補助：10件採択/年 認証取得に係る情報発信・啓発啓蒙等のセミナー：4回/年 	<ul style="list-style-type: none"> 仕向地ごとのマーケットに即した戦略的な販路開拓、商流構築 輸出商材の発掘 新規台湾進出企業及び輸出志向企業の発掘 法令化されたHACCP制度への取組意識の向上及び啓蒙 各企業の取組に対する経営資源不足（人材・資金） 	<ul style="list-style-type: none"> アジア諸国における道産食品の輸出活性化に向けた支援 各国マーケットの需要及び受入状況調査、道内サプライヤーの状況把握、効果的な商談が見込める商材の発掘 台湾CO配置による、台湾への輸出拡大（食品海外販路拡大支援事業より分割） 食品の競争力強化に向けたHACCP等の認証取得支援（食品海外販路拡大支援事業より分割） 	<ul style="list-style-type: none"> 貿易関連相談件数：250件/年 商談サポートによる輸出額：160,000千円 台湾食関連市場に関する調査・報告：12件/年 販路拡大に関する企業相談・現地商談マッチング：80件/年 HACCP等の認証取得のための補助：7件採択/年 	<ul style="list-style-type: none"> 道産食品のアジア諸国での販路拡大、ブランド力の向上 北海道ブランドの拡大・認知をきっかけとしたインバウンド増 支援先における輸出関連業務の自走化 道産食品の台湾での販路拡大、ブランド力の向上 市内飲食店の台湾進出拡大 HACCP等認証に係る重要性の情報発信及び取組推進への啓発啓蒙
	9	輸出仕様食品製造支援事業【札幌市補助事業】	9,855	<ul style="list-style-type: none"> 輸出仕様食品開発のための補助：7件採択/年 	<ul style="list-style-type: none"> 年度内の販売実績に繋がる即効性のある支援体制の充実 補助金採択企業間の連携による相乗効果の創出 	（令和2年度から食品開発支援事業に統合）		<ul style="list-style-type: none"> 市内企業の海外への販売力強化 北海道ブランドのさらなる定着
	10	北大ビジネスインキュベーション支援事業【札幌市受託事業】	3,983	<ul style="list-style-type: none"> 経営アドバイス等の相談対応：88件/年 商談会・マッチング等の情報提供：1,702件/年 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な入居企業候補の発掘による入居率の維持 時代に合った入居者支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> インキュベーションマネージャー1名の派遣による施設入居企業に対する経営支援 	<ul style="list-style-type: none"> 経営アドバイス、マッチング支援：70件/年 情報提供：1,600件/年 	<ul style="list-style-type: none"> 入居企業の成長と、札幌市内の新産業の発展
	11	デザイン活用型製品開発支援事業【札幌市補助事業】	5,279	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりセミナー：1回/年 展示商談会：1回/年（30年度採択3社） 中間報告会：1回/年 製品開発プロデューサー及びアドバイザーによる支援：3社/年 	<ul style="list-style-type: none"> 「デザイン戦略」の必要性の周知と普及 小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業との有機的な連携 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり企業の製品開発等の支援 ものづくりにおける「デザイン戦略」活用に向けた普及啓発 専門家（プロダクトデザイナー）による製品開発から販売戦略までの一貫した支援 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりセミナー：1回/年 成果発表会：1回/年 中間報告会：1回/年 専門家（プロダクトデザイナー）による支援：3社/年 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり企業における製品開発力や競争力の強化によるものづくり産業の振興

所管	NO.	事業名	支出決算額 (千円)	令和元年度		令和2年度		今後(概ね5年間)、目指すべき方向性
				事業実績	課題	事業計画	事業目標	
	12	創業支援事業者補助金事業 【国補助事業】	10,403	<ul style="list-style-type: none"> スタートアップ・プロジェクトルーム入居企業に対するハンズオン支援、創業機運醸成事業の実施(4,436千円) 入居企業の事業発表会:1回(参加者77名) 入居企業向け経営塾の開催:4回(参加者59名) 創業機運醸成講座の開催:6回/年 ※その他、札幌商工会議所等における事業費等(6,034千円) 	-	(令和元年度で事業終了)		-
	13	小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業 【札幌市補助事業】	18,653	<ul style="list-style-type: none"> 製品開発のための補助:7件採択/年 採択先へのハンズオン支援 ものづくり企業等への訪問:280件 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり企業の課題のさらなる発掘 企業間連携構築に向けたさらなる取組 	<ul style="list-style-type: none"> 小規模ものづくり企業向けの製品開発・販路拡大支援 ものづくり企業における課題(製品開発、行政に求める支援策等)把握 	<ul style="list-style-type: none"> 製品開発のための補助:5件採択/年 ものづくり企業等への企業訪問:350件 	<ul style="list-style-type: none"> 市内ものづくり関連企業の革新的な新製品・新技術の開発支援によるものづくり産業の付加価値向上 地域を支える魅力ある企業への成長を促すための企業間連携の構築
	14	IoT等生産性向上推進事業 【札幌市補助事業】	1,671	<ul style="list-style-type: none"> IoT等生産性向上セミナー:1回(131名) ものづくり等見本市に出展:1回(9社) 	<ul style="list-style-type: none"> IoT導入に向けての自社分析や可視化、生産性向上ツールの導入率の向上 	(令和元年度で事業終了)		-
	15	映像産業振興事業 【札幌市補助事業】	82,315	<ul style="list-style-type: none"> 誘致した映画・ドラマの件数:6件(うち2件は撮影延期等) ボランティアエキストラ登録数:3,222名 映像制作助成金採択件数:18件(うち4件は撮影延期等にて採択取り消し) 国内外映像見本市への出展:3件 ロケ誘致をしたアニメ「波よ聞いてくれ」等を活用したシティプロモーションの実施 国際共同制作案件組成のためワークショップ(3回)、国際企画提案会議(国内1回)を実施 学生映像コンテスト、ドキュメンタリー講座、札幌映像コーディネーター勉強会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特区通訳案内士、映像コーディネーター制度の更なる活用 他産業との更なる連携 	<ul style="list-style-type: none"> 国際共同制作促進にむけた取組(国際企画提案会議等の実施、助成金活用による制作支援) 国内外からのロケ誘致の促進による札幌の魅力発信やボランティアエキストラ登録制度等の活用によるシビックプライドの醸成 映像の力を活用した他産業へ波及効果の創出 映像コンテンツの販路拡大に向けた支援や、映像関連人材の育成による映像産業の基盤強化 	<ul style="list-style-type: none"> 映画・ドラマの誘致件数:3件 ボランティアエキストラ登録数:3,500名 映像制作助成金採択件数:20件 国内外映像見本市への出展:3件 	映像関連産業の振興とともに、映像のプロモーション効果を活かした観光客の誘致や道産食品の海外輸出など、多様な産業への波及効果を生み出すことによる地域全体の活性化を推進する。
中小企業支援センター			28,391					
	1	中小企業支援センター事業 【札幌市受託事業】	28,391	<ul style="list-style-type: none"> 経営・融資相談件数:5,309件/年 融資あっせん受付件数:38件/年 企業訪問による事後フォローアップ:125件/年 アドバイザー派遣:6日(企業数3社)/年 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業【国との協力事業】専門家派遣:3社(5日)/年 セーフティネット等保証制度認定申請受付:732件/年(新型コロナウイルス感染症に係る緊急経営相談窓口新設による申請受付702件含む) 女性中小企業診断士による女性向け起業・経営相談窓口50日/年 市内金融機関訪問:181店舗/年 さっぽろ人材サポートデスク(ひとサポ)による相談件数24件 	<ul style="list-style-type: none"> 広報強化による利用促進 斡旋先への事後フォローの徹底、優良先の発掘 「さっぽろ創業支援プラザ」の利用活用 融資斡旋以外の経営支援の充実 国の制度の積極的な活用促進 専門相談員のスキルアップ及び広報強化による利用促進 女性起業家への支援窓口の周知 中小企業家へ人材確保窓口の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業者等が抱える経営課題解決に向けたアドバイザー派遣 創業・雇用創出支援資金の事後フォローアップによる継続的な支援体制の構築 経営相談窓口による経営支援の強化、各種制度融資等の活用に関する提案 創業・雇用創出支援資金並びにセーフティネット認定申請に係る適切な相談・融資受付 新型コロナウイルス感染症に対する緊急経営相談窓口の運営 中小企業者等が抱える高度な経営課題・相談に対応するため、専門家派遣の実施 女性中小企業診断士による女性向け起業前・起業後の経営支援 社会保険労務士等による求人方法や採用計画などに関する経営支援 市内金融機関へのセンター事業の広報活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 経営・融資相談件数:2,500件/年 融資あっせん受付件数:70件/年 企業訪問による事後フォローアップ:40件/年 融資あっせん受付件数:70件/年 アドバイザー派遣:10日(企業数5社)/年 専門家派遣:10社(20日)/年 女性中小企業診断士による女性向け起業・経営相談窓口52日/年 金融機関訪問店舗:50店/年 社会保険労務士等による「さっぽろ人材デスク」96日/年 	<ul style="list-style-type: none"> 「さっぽろ創業支援プラザ」の相談体制強化 中小企業者への円滑な資金調達の支援と質の高い経営支援 さっぽろ産業ポータルサイト・メルマガや税理士事務所情報などを活用した創業支援資金等の広報強化 国や札幌商工会議所などの専門家派遣との連携 女性起業家への創業支援による創業の拡大 他中小企業支援機関との連携強化による有効な情報提供

所管	NO.	事業名	支出決算額 (千円)	令和元年度		令和2年度		今後(概ね5年間)、目指すべき方向性
				事業実績	課題	事業計画	事業目標	
		エレクトロニクスセンター	239,518					
	1	エレクトロニクスセンター 管理運営事業 【札幌市指定管理業務】	74,054	・貸会議室、駐車場等の施設管理運営	・改修工事終了後の施設のPR ・技術開発室の入居率の維持・向上、特に技術開発室B(ウェットラボ)への入居企業の誘致	・会議室等利用促進のためのPR ・技術開発室入居率向上のための誘致活動	・年度末入居率:85%超(技術開発室)	・実証実験等の場としての利用等、エリセン・テクノパークの新機能の提示・活用 ・ウェットラボへの入居促進に繋がられる、IT関連企業と食・バイオ関連企業との連携による新たなビジネスの創出
	2	技術開発室支援事業 【財団自主事業】	33,907	・年度末入居率78.9%				
	3	IoT推進コンソーシアム事業 【札幌市補助事業】	37,960	・AI人材育成講座(AI×経営入門編&実践編を各2セット、初心者向けエンジニア育成を3セット)実施(4h/回を全10回開催):延べ290名 ・先進的IT技術実証事業費補助金:2件採択(応募3件) ・先進的IT技術に関する研修(普及・啓発セミナー・イベント:Developers Festa)の集客:延べ320名参加 ・最新技術研修参加者:延べ333名	・新技術やデータを活用し、時代のニーズを踏まえたビジネスをデザインできる高度なIT人材の継続的な育成と最新技術の社会実装をリードしていくIT企業の支援と継続的な育成 ・最新技術トレンドを捉えたより実践的な技術研修の実施 ・AI、IoTなどの先進的IT技術に長けた市内IT技術者やAI技術を適材活用できるデータサイエンティストの育成 ・IT技術を活用した自社ビジネスの展開やwithコロナに関する社会的取組を核とする市内IT企業の増加及びライトアップ強化	・AI、IoTなどのIT技術と企業が持つ蓄積データを融合した、市内IT企業が関わる新たなビジネスの創出や参画支援など、産学官連携によるコンソーシアムの運営 ・市内IT企業による先進的IT技術の社会実装に向けた実証や、自らが新たなサービスや製品を開発し、市場参入及び拡大を目的とした取組に対する費用の補助 ・地場のエンジニアを対象とした、先進的IT技術を中心とした普及・啓発セミナーの開催(Developers Festa Sapporo、ICT活用普及促進部会、等)	・AI人材育成講座(AIビジネス創出概論、AI×経営実践編、初心者向けエンジニア育成:未受講者対象、1セット)開催:延べ100名 ・データサイエンティスト育成に向けたデータ活用&分析ハンズオンセミナー開催(2~4講座1セット:延べ100名) ・AI部会、ICT活用普及促進部会主催によるイベント開催(市内IT企業が関わる、AIやIT技術のビジネス展開加速を目的):5回程度 ・先進的IT技術に関するセミナー(Developers Festa Sapporoなど)の集客:延べ350名 ・ITビジネス創出支援事業費補助金の実施@4,000千円×4件採択	・地域から次々と新しい技術や価値が連続的に生み出される仕組みの形成 ・市内IT企業が関わる、札幌発となる多数の新製品・新サービスの創出 ・最新の技術・サービスを提供する経営者・技術者のコミュニティの形成 ・IT(産業)が持つ魅力や社会貢献(withコロナ等の取組)などの情報発信
	4	IT活用ビジネス拡大事業 【札幌市補助事業】	26,987	・IT活用ユーザ企業向けセミナー:延べ3回303名参加 ・ニーズ調査対象:運輸8社、建設8社 上記調査対象とIT企業による交流会:延べ4回開催 市内IT企業 15社参加 ・ITコーディネータ活用等による、IT活用に関するユーザ系企業とのマッチング:11件 ・IT活用促進事業費補助金:3件採択(応募6件) ・ITビジネス創出支援事業費補助金:3件採択(応募8件)	・セミナーやマッチングの結果のフォローアップ ・他産業企業との効果的なマッチングにつながるIT化のニーズ調査及び掘り起しの実施 ・ITコーディネータとのさらなる連携強化によるユーザ企業の戦略的IT投資の促進	・IT活用拡大の啓蒙普及セミナーや、IT技術活用によるビジネスイノベーション事例の紹介セミナーを開催 ・市内IT企業と他産業分野の企業とのマッチングを最終目的とした、IT活用ニーズ調査及び交流会の開催 ・IT活用促進に向けたユーザ企業向け戦略的ITシステム開発費の補助及び相談支援 ・ウェットラボ入居企業を対象とした、研究開発に係る補助金の交付(IT×バイオ連携推進事業)の一部を統合)	・IT活用ユーザ企業向けセミナー(札幌イノベーションセミナー等)参加者:350人 ・ニーズ調査対象:食・観光を支える分野及びバイオ系分野、10~15社程度(交流会:IT企業及び他産業分野の企業が数社程度参加する小規模ディスカッション形式)を経て提携・契約を見据えたマッチングの支援 ・ITコーディネータの活用等も含めた、IT企業とユーザ企業のマッチング:10件程度 ・IT活用促進事業費補助金2,000千円×5件採択 ・ITビジネス創出支援事業費補助金3件程度(計6,500千円)	・IT業界全体のリーディング・カンパニーとなる市内IT企業の育成 ・IT技術活用による新しい製品やサービスが創出される環境の醸成 ・様々な産業分野と市内IT企業との、シナジー効果による札幌発となる多くの新サービスを創出 ・データ活用によるビジネスイノベーションに向けた一歩としてIT活用が重要であることの情報発信及び啓蒙
	5	IT×バイオ連携推進事業 【札幌市補助事業】	8,357	・IT×バイオ連携セミナー開催 IT企業・バイオ企業延べ67名参加 ・医療バイオ・食バイオ関連企業・団体へのヒアリング:5件 ・視察会・意見交換会:2回開催、参加企業数:IT企業延べ:10社 ・補助金の交付 研究開発補助:2件(計3,750千円) IT活用補助:1件(計1,875千円)	・IT企業と食・バイオ関連企業とのマッチングを促すため、バイオ企業の視察会や勉強会の開催。フォローアップとしての意見交換・企画提案の場を設ける(バイオ系企業とのコネクションを持つコーディネータの協力・助言を仰ぐ)	(令和元年度で事業終了、一部をIT活用ビジネス拡大事業に統合)	—	—
	6	ITイノベーション推進事業 【財団自主事業】	7,035	・市内IT企業向け実践的研修の開催(RPA:Robotic Process Automationの商材動向とハンズオン)を4回開催。参加者延べ87名 ・市内IT企業のイノベティブな活動支援の一環として、新技術(LPWAやIoTなど)の活用促進に向けた実証環境を提供 ・市内IT企業と首都圏及び海外企業とのマッチングを目的として、首都圏(Wework渋谷)におけるイベント「サッポロナイト」の開催と、市内IT企業の活動内容を示した冊子及びWebサイトを制作し、PR活動を実施	・次世代の新技術に係る情報収集と、市内IT企業への迅速な展開 ・若い世代をIT業界に引き込み、人材として定着・確保していく	・今後注目すべき新技術やITを活用したイノベーション事例などの調査及びモデル事業の実施 ・市内IT企業の海外展開等のイノベティブな活動の支援 ・学生や若年層を対象としたプログラミングなど、IT業界に興味を抱かせる啓発セミナーの開催	・新技術活用の事例紹介セミナー:1件 ・市内IT技術者を対象とした実践的研修(或いはワークショップ):1件 ・学生・若年層向けプログラミングイベント:3回程度	・新技術を応用した新しいサービスモデルの創出や、必要とされる人材育成に資する機能の提供
	7	ICT活用プラットフォーム 関連事業 【札幌市補助事業】	22,752	・データ利活用の促進及びプラットフォーム運営の自走化に向けた運営組織(一般社団法人札幌圏地域データ活用推進機構)の設立 ・プラットフォーム運営会議の開催(年12回) ・ラウンドテーブル(オープンデータ化に向けた市及び民間事業者との協議)の開催(3回) ・データ利活用に関するイベント開催(1回)	・プラットフォーム運営組織の自走化に向けた本格的な検討 ・データ利活用の促進に向けたモデル事例の発掘・創出及びデータ利活用促進事例の調査・研究	・H29年度に構築した「札幌市ICT活用プラットフォーム」の維持管理及び運営 ・データ利活用の促進に向けたモデル事例の発掘・創出及びデータ利活用促進事例の調査・研究 ・官民が保有するデータのオープン化及び利活用の促進	・データ分析ツールの使い勝手の向上に向けた利用者へのヒアリング及びツールの改修 ・データ活用事例創出に向けた利用者への活用方法の提案や支援 ・プラットフォーム運営組織の自走化に向けたプランの検討	・令和4年度(2022年度)をメドに自走化 ・事業分野・事業領域の拡大 ・データ活用事例の発掘・創出

所管	NO.	事業名	支出決算額 (千円)	令和元年度		令和2年度		今後(概ね5年間)、目指すべき方向性
				事業実績	課題	事業計画	事業目標	
	8	キャッシュレス推進事業 【札幌市補助事業】 (R2年6月末で事業終了)	13,967	・決済端末設置店舗数(14店舗) ・キャッシュレス推進イベントの開催(4回)	・決済端末導入の必要性及びメリットの訴求	・決済端末設置に向けた市内店舗訪問活動・導入店舗へのフォロー	・決済端末設置店舗数(100店舗)	—
	9	みらいIT人材育成事業 【札幌市補助事業】	9,984	・小中学生向けプログラミング体験、ITスキル習得を目的としたイベントを開催(ジュニアプログラミングワールド2019)、延べ6,000名参加。 ・高校生を対象とした、ITの活用による課題解決、アイデア具体化スキル習得、成果発表からなるセミナー(Break Through)を開催。計4回開催、参加チーム数8(延べ200名参加)	—	(令和元年度で事業終了)		—
	10	xR技術普及促進支援事業 【札幌市補助事業】	4,515	xR技術を持つ企業群と他産業分野との交流・マッチングを目的とした「xR Exhibition Sapporo 2020」は事前申込152名であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため非公開で開催。展示内容を撮影し動画配信を実施	—	(令和元年度で事業終了)		—
インタークロスクリエイティブセンター(ICC)			58,121					
	1	ICC施設管理運営事業 【札幌市指定管理業務】	26,818	・クロスガーデン利用者数:5,201人/年(月平均433名) ・クリエイティブルーム入居率58%(全12室、入居7室、空き5室) ・新規プロジェクト登録数:4団体(計77団体) ・クリエイターや企業等からの相談対応(合計46件) ・他産業企業へのヒアリング実施:課題やニーズを把握し、必要に応じて助言し、クリエイター同士、他産業とのつなぎ合わせを行った。	・クリエイティブルームの入居条件等の検討 ・映像音楽編集スペース廃止による今後の活用方法の検討 ・コーディネーターによるコンサルティングの強化 ・クリエイターと企業とのマッチング強化 ・クリエイターによる新規事業創出に向けた支援策の検討 ・補助金制度の見直し ・withコロナで進めるための新たな運用方法の検討	・プロジェクトメンバー間の情報交換やモチベーション向上を目的としたコミュニケーションの活性化に関する取組 ・新たなプロジェクトの創出やクリエイター及び企業との交流の場として更に施設の利用が促進されるよう、ネットワークの構築を図る取組 ・クリエイターやプロジェクト(入居者を含む)の活動を支援するため、デザインなど各分野に精通したアドバイザー制度の構築 ・札幌メディア・アート・フォーラムと連携した次世代若手クリエイター(学生を含む)の支援に関する取組の実施	・クロスガーデン利用者数:月平均400名 ・クリエイティブルーム入居率:85% ・プロジェクトメンバー間のコミュニケーション活性化イベント(2回以上) ・有益なプロジェクトやクリエイターの発掘及び関係構築を目的としたクリエイティブ関連イベント等への参加(4回以上) ・札幌メディア・アート・フォーラムと連携した次世代若手クリエイター(学生を含む)の支援に関する取組(2回以上)	・withコロナを見据えた、クリエイター等の新たなコミュニティ形成やネットワーク構築 ・クリエイターやプロジェクトの積極的な情報発信 ・各種セミナーやワークショップ等により、ICCの更なる認知度の向上や利用者数の増加(オン/オフライン含む) ・クリエイターやクリエイティブ産業関連企業と他産業企業との連携強化(コーディネーターによる相談対応強化) ・クリエイティブ産業振興に寄与することができる人材の育成・発掘・フォローアップ ・No Mapsやオンラボを活用した成長企業の創出
	2	クリエイティブ産業振興事業 【札幌市補助事業】	24,477	・クリエイター向けクリエイティブセミナー:5回(149名) ・クリエイター向けビジネスセミナー:7回(195名) ・クリエイター向けネットワーク構築イベント:7回(111名) ・企業向けクリエイティブイベント:2回(92名) ・市民向けクリエイティブイベント:5回(288名) ・プロジェクト発信イベント:2回(23名) ・道内連携プロジェクト補助事業:2件		・勉強会などの小規模イベントの実施によるコミュニティ形成の促進及びクリエイターによる小規模イベントの自走化 ・クリエイター同士、クリエイターと他産業との連携促進 ・クリエイター等と他産業企業との連携による製品・サービスの高付加価値化やデザイン・コンテンツ関連市場の拡大、他産業企業のクリエイティブ活用の普及促進などを目的とした、クリエイティブ活用を促進する補助事業の実施	・クリエイター向けネットワーキングイベント(5回以上):30名/回 ・クリエイティブ連携促進イベント(5回以上):30名/回 ・クリエイターと他産業の連携によるクリエイティブ活用を促進する補助金の交付:1,000千円×4件	
	3	クリエイティブ人材育成事業 【札幌市補助事業】	6,826	・映像・音楽編集スペース利用件数:31件 ・札幌メディア・アート・フォーラム(SMF)とのワークショップ、セミナーの共催 ・若手クリエイティブ人材育成「映像制作ワークショップ」【基礎知識編・撮影編・編集編】:各10名参加	・若者の創造性を育む接触機会の創出 ・国内外で活躍できるクリエイティブ産業に係わる人材の輩出 ・スタートアップを志す母数の拡大、コミュニティ形成	(令和元年度で事業終了)		—

注:端数処理の関係で、各拠点の名称の右欄に記載している支出決算額と、当該拠点で実施した各事業の支出決算額の合計額が合わない場合がある。

Ⅳ 令和元年度資金収支決算（事業別対比）

（法人会計配賦前）

（単位：円）

項 目	収 入 ①	支 出 ②	収支差 ①－②
産業振興センター事業	372,762,342	373,316,928	△ 554,586
中小企業支援センター事業	29,296,988	28,391,386	905,602
エレクトロニクスセンター事業	265,896,874	239,518,208	26,378,666
インタークロス・クリエイティブ・センター事業	58,991,517	58,121,160	870,357
財団プロジェクト推進事業	5,201,000	3,982,475	1,218,525
管理費	44,993,000	78,372,713	△ 33,379,713
その他 （基本財産利息、特定資産利息、 雑収入、受入保証金収入、受入保証金引当資産取得支出、退職金引当資産取得支出、保証金支出、法人税等）	41,458,009	35,938,532	5,519,477
計（当期収支差額）	818,599,730	817,641,402	958,328
前期繰越収支差額			121,825,441
次期繰越収支差額			122,783,769

- ・ 補助金収入は各事業の収入に含めて表している。
- ・ 固定資産（什器備品、ソフトウェア等）取得支出、リース債務支払支出は、各事業の支出に含めて表している。

V 財団の状況に関する重要な事項（計算書類及びその付属明細書の内容となる事項を除く。）

書面決議の方法による 理事会議決日	議決の概要
令和元年7月8日	<p>x R技術活用による新ビジネス創出のため、普及促進イベントの開催などによる機運醸成を図るほか、外国人観光客の受入環境向上等のための、飲食店等を対象としたキャッシュレス決済導入に対する補助の実施及びIT人材の裾野を拡大するための若年層を対象とした人材育成事業の実施に伴い、令和元年度事業計画の変更及び令和元年度予算の補正について理事会の承認を得たもの。</p>